

考 試 科 目	日本文學	所 別	日本語文學系 5/41	考試時間	2月26日(日)第3/4節
---------	------	-----	----------------	------	---------------

一、次の文を読んで、設問に答えよ。(35%)

1.

「その春、世の中いみじう騒がしうて、松里の渡りの月影あはれに見し乳母も、三月一日に亡くなりぬ。せむかたなく①思ひ嘆くに、物語のゆかしさもおぼえずなりぬ。いみじく泣き暮らして見出だしたれば、夕日のいと華やかに差したるに、桜の花残りなく散り乱る。

②散る花もまた来む春は見もやせむやがて別れし人ぞ悲しき

また聞けば、侍従の大納言の御むすめ、亡くなりたまひぬなり。殿の中將の思し嘆くなるさま、わがものの悲しき折なれば、いみじくあはれなりと聞く。上り着きたりしとき、「これ手本にせよ」とて、この姫君の御手を取らせたりしを、「さ夜ふけて寝覚めざりせば」など書いて、「鳥辺山谷に煙の燃え立たばはかなく見えしわれと知らなむ」と、言ひ知らずをかしげに、めでたく書きたまへるを見て、いとど③涙を添へまさる。」(『更級日記』)

■設問 (14%)

- (1) ①の理由を説明せよ。(3%)
- (2) ②を現代語訳にしてみよ。(5%)
- (3) ②にある「別れし人」とは誰を指しているのか。(3%)
- (4) の理由について述べよ。(3%)

2.

天地は 広しといへど 我がためは さくやなりぬる 日月は 明しといへど 我がためは 照りやたまはぬ
 ①人皆か 我のみやしかる わくらばに 人とはあるを 人並に 我も作るを 綿もなき 布肩衣の 海松のごと
 わわけさがれるかかふのみ 肩にうち懸け ふせいほの まげいほの内に ひたつちに 薫解き敷きて 父
 母は 枕のかたに めこどもは あのかたに 囲み居て 憂へさまよひ 籠には ほけ吹き立てず こしき
 には蜘蛛の巣かきて いひかしく ことも忘れて ぬえ鳥の のどよひ居るに いとのかきて 短き物を 端きると
 いへるがごとく しもと取る ②里長が声は ねやどまで 来立ち呼ばひぬ かくばかり ③すべなきものか
 よのなかの道

④世の中を うしとやさしと 思へども 飛び立ちかねつ 鳥にしあらねば (『万葉集』山上憶良・貧窮問答歌)

■設問 (15%)

- (1) ①の「しかる」とは何を指しているのか。(4%)
- (2) ②の理由を述べよ。(3%)
- (3) ③に示されている作者の心境を述べよ。(3%)
- (4) ④を現代語訳にしてみよ。(5%)

備 註	試 題 隨 卷 繳 交
-----	-------------

考 試 科 目	日本文學	所別	日本語文學系 6141	考試時間	2月26日(日)第3/4節
---------	------	----	----------------	------	---------------

3.
昔、男ありけり。その男、身をえうなきものに思ひなして、「京にはあらじ、東の方に住むべき国求めに。」とて行きけり。もとより友とする人、一人二人して行きけり。
道知れる人もなくて、惑ひ行きけり。三河の国八橋といふ所に至りぬ。そこを八橋と言ひけるは、水ゆく川の蜘蛛手なれば、橋を八つ渡せるによりてなむ、八橋と言ひける。(『伊勢物語』第九段・東下り)

設問 (6%)

- (1) 男の東下りの理由について述べよ。(3%)
- (2) 「八橋」という名の由来について述べよ。(3%)

二、中世の「芸能」についてその要点をおさえて述べよ。(5%)

三、次の文章を読み、設問に答えよ。(45%)

1.
〈1933年、芥川の「遺書」をふまえて、川端康成が、「人間は生よりも反つて死について知っているような気がするから、生きてゐられるのである」(「末期の眼」と書いたとき、そこでは「末期の眼」とは何を意味したのか。

《修業僧の「氷のやうに透み渡つた」世界には、線香の燃える音が家の焼けるやうに聞え、その灰の落ちる音が落雷のやうに聞こえたところで、それはまことであらう。あらゆる芸術の極意は、この「末期の眼」であらう。私は芥川氏を作家としても、文章家としても、さほど尊敬することは出来なかつた。それには無論、自分が遥かに年少といふ安心もあつたであらう。この安心のままいつしか芥川氏の死の年に近づき、愕然として故人を見直せば、わが口を縫はねばなるまいが、そこはよくしたもので、自分を恥ぢる一方、さては自分はまだまだ死なぬのであらうといふやうな、別種の安心に甘えるのである。(略)従つて、その「末期の眼」を芥川氏に与へたところのものは、二年ばかり考へつづけた自殺の決意か、自殺の決意に到らしめた芥川氏の心身にひそんでゐたものか、その微妙な交錯は精神病理学を超えてみようが、芥川氏が命を賭して「西方の人」や「歯車」を購つたとは云へるであらう。(略)「実験」の出発は、よしんばそれが少しばかり病的なものであらうとも、楽しく若やいだものであるが、「末期の眼」はやはり実験であらうが、死の予感を相通ずることが多い。》(「末期の眼」)

川端康成ほど、感傷から遠い作家はいない。(略)

川端が『末期の眼』で、かつては芥川龍之介の「死の汚点」とまで思った「或旧友へ送る手記」を、《いきなり、なんのことはない、芥川氏は自分が凡人であることを語ろうとしているのだといふ気がした》という言い方で、再評価したのはおそらく象徴的である。

死を前にして、「超越」するのではなく、「凡人」に帰つたとはどういうことか。そしてなぜ「凡人」は、「再評価」のメルクマールなのだろうか。)

(岡庭昇「『末期の眼』に映るもの」『私小説という哲学 日本近代文学と「末期の眼』』2006, P135-136)

考 試 科 目	日 本 文 學	所 別	日 本 語 文 學 系 6141	考 試 時 間	2 月 26 日 (日) 第 3/4 節
---------	---------	-----	---------------------	---------	------------------------

■設問 (15%)

死を前にして、「超越」するのではなく、「凡人」に帰ったとはどういうことか。川端康成が晩年近く再評価される芥川龍之介の「末期の眼」に映った「氷のやうに透み渡つた」世界、つまり世界認識は明らかに肉体的な「凡人」の身体であった。ここで、川端康成の認識された芥川龍之介の「末期の眼」の自然解体について、両氏の体質と文学表現を実例を取り上げながら、500 字以内で分析してみよ。

2.

〈 震災後に発表された作家による震災印象記は夥しい数にのぼると言うが、代表的なものの一つに田山花袋による『東京震災記』(博文館)がある。本書は一九二四年(大正十三年)に出版されて当時のベストセラーになったが、その中に次のような一節がある。

「それは人間は大切だ。それは言ふも待たないことである。しかし、自然といふもの、大きな眼から見れば、人間も亦一つの生きたものである。火が来れば焼け、水が来れば溺れるのは、それはきまり切つたことである。それに對しては自然は全く無關心である。従つて、被服廠跡の悲惨な光景も、自然に取つては何でもないのである。唯、焼けるものがあつたから焼けただけのことである」

これに続くくだりで花袋は『廢墟』について述べ、人間と自然の関係を考える上での『廢墟』の重要性について考える。

「『廢墟』といふことは、この大きな自然のリズムではないか。何んなものにでもいつか一度はやつて來るものではないか。人間の『自然死』もまたこの『廢墟』の一種ではないか。人間の心の中にも絶えず『廢墟』が繰返されてゐるのではないか。淫蕩、倦怠、奢侈、疲労、ざういふものの中に『廢墟』が常に潜んでゐるのではないか。

そして、『廢墟』の中から更に新しい芽が萌え出すのである。新しい戀が生れて來るのである。新しい心が目ざめて來るのである。

《それを思へば、この震災も決して無意味に行はれたのではないかといふことが出来る。矢張、これも大なる自然のリズムであらねばならぬ》

花袋がこの印象記で思索的なことを述べる箇所は決して多くはない。また震災直後の生々しい感情の動揺を反映するかのように、その記述にはむらがあり、感想にも混乱がある。震災の悲劇を「自然のリズム」として受容するそぶりをみせつつも、彼は至るところで動揺し慨嘆する。(略)

しかし彼は別の箇所で「東京としての大きな『廢墟』もさることながら、私はその中に更に小さな私の『廢墟』を見たやうな氣がした。とも述べている。このくだりからも分かるように、花袋の言う『廢墟』とは、彼の内面の問題と重ねられている。

『廢墟』とは何だろうか。それはおそらく、現世とは別の時間の様相を示す言葉にほかならず、それが『廢墟』の魅力でもある。だとすれば、彼の言う『廢墟』とは、彼の棲む日常にも、あるいは花袋自身の内面にも胚胎している「兆候的メタ世界」(中井久夫)のような位相空間にほかならないだろう。

震災は花袋の内面に胚胎された『廢墟』を呼び覚ましたように、文学においても新しい人間觀を喚起した。

備 註	試 題 隨 卷 繳 交
-----	-------------

考 試 科 目	日本文學	所 別	日本語文學系 6141	考試時間	2月26日(日)第3/4節
---------	------	-----	----------------	------	---------------

その一つの帰結が、いわゆる「新感覚派」なのではなかったか。(略)

このように「新感覚派」の成立においては、「現実」に対する信頼の揺らぎと、これにあいまって生じた「私」の不確かさが関わっている。(略)

これもまたリアリズムであるとすれば、震災の及ぼした影響とは、どのように記述されるべきものだろうか。思想的・政治的「意味」を追求しようとしたプロレタリア文学のリアリズムに対し、虚構が与える感覚的な「強度」のみを追求しようとしたのが新感覚派、ということになるだろうか。

いずれにせよ、このようなリアリズムの位相的变化は、現前=現実という等式が懐疑しかもたらさなくなった状況によってもたらされたとみても不自然ではない。ならば、そもそもリアリティが変化するとはいかなる事態なのだろうか。

(斎藤環「言葉・空間・祈り 関東大震災と文学」『文学の断層 セカイ・震災・キャラクター』2008、P234-240)

■設問 (18%)

震災がいかにリアリティの位相を変えるかを検討する意味として、関東大震災後の一つの傾向として、既成のリアリズム文学が衰弱し、新感覚派やプロレタリア文学が生れたという経緯が興味深いものである。以上の花袋が言及された『廢墟』の心象風景に即して、花袋の内面の心性の問題と重ねて 500 字以内で説明せよ。

又、横光利一の「真昼である。特別急行列車は満員のまゝ全速力で馳けてみた。沿線の小駅は小石のやうに黙殺された」(「頭ならびに腹」1924) の新感覚派的リアリズムと対照させた上で、新感覚派の「言葉」の表現がなぜ私小説的なリアリズムを超えたのか、両者のリアリティの把握の仕方と内実について、実例を採り上げながら 500 字以内で分析して検討せよ。

3.

〈安吾のエッセイと言え、**「墮落論」**である。この穏やかならぬタイトルのエッセイは、昭和二十一年四月、『新潮』に発表されており、私の座右の書である高校生用の『新修国語総覧』にも「主要評論解説」の項に挙げられていて、「従来の政治観、道徳観を超えた逆説的な論理で、戦後の混乱と頹廢の中で生きる抛りどころを失った人々に呼びかけ、大きな影響を与えた」とある。それはよろしい。大東亜の西洋からの解放を謳い、善と美に依拠して苦しい戦争を戦っていると信じていた日本人が、敗戦という現実と直面して、米国を中心とする占領軍になんら抵抗することもなく屈伏し、従来の価値観を根底から揺すぶられるなかで、「生きよ墮ちよ」「人間は生き、人間は墮ちる。そのこと以外の中に人間を救う便利な近道はない」といった断言が意味を持ったことは理解する。だが、どうもこのエッセイは、今なお大変人気があるようで、私が持っている角川文庫版は、平成元年の台五十三版だ。学生などと話していても、特に文学青年というわけでもない学生が、この「墮落論」だけは知っていたりする。(略) けれど、安吾がこのエッセイを書いたコンテクストは、明らかに彼らとは関係ないものだ。いったい今の学生の誰が、大東亜戦争が、東亜新秩序という理想を抱いた戦争だったなどと知っているだろう。いったい今の若者の誰が、昨日まで「鬼畜」と呼ばれた米軍兵士相手に日本女性が「パンパン」とか「オンリー」と呼ばれる娼婦となる様子を見た日本人の屈辱を知っているだろう。(略)

もっともそうなると、安吾はそもそも「爆弾三勇士」とか「特攻隊」とか「玉砕」を美と捉える思考に抵抗

備 註	試 題 隨 卷 繳 交
-----	-------------

考 試 科 目	日本文學	所 別	日本語文學系 6141	考試時間	2月26日(日)第3/4節
---------	------	-----	----------------	------	---------------

して「醜くとも生きろ」と言ったのだということになり、それなら「醜く生きるくらいなら美しく死にたい」と思っている世俗的な私なんぞが読んでも何の功德もないのは当然だという話に終わってしまう。だいたい厄介なのは、安吾自身が戦争中には爆弾三勇士を描いた「真珠」などという短編を書いていて、その罪悪感があるからで、私は健啖家で女好きで命根性の汚かった谷崎潤一郎の方がその点ではずっと好きなのだ。安吾は、自殺した姪について、続けてこう書いている。「一見清楚な娘であったが、壊れそうな危なさがあり真逆様に地獄へ墮ちる不安を感じさせるところがあつて、その一生を正視するに堪えないような気がしていた」。後のほうでまたこの姪が出てくる。

まったく美しいものを美しいままで終わらせたいなどと希うことは小さな人情で、私の姪の場合にしたところで、自殺などせず生きぬきそして地獄に墮ちて暗黒の曠野をさまようころを希うべきであるかもしれぬ。現に私自身が自分に課した文学の道とはかかる曠野の流浪であるが、それにもかかわらず美しいものを美しいままで終わらせたいという小さな希いを消し去るわけにも行かぬ。未完の美は美ではない。その当然墮ちるべき地獄での遍歴に淪落自体が美でありうる時に始めて美とよびうるのかもしれないが、二十の処女をわざわざ六十の老醜の姿の上で常に見つめなければならぬのか。これには私にはわからない。私は二十の美女を好む。

「私にはわからない」ではない。この文章の「未完の美」以降、何を言っているのか分からない。かろうじて最後の「二十の美女を好む」が分かるだけだ。だいたい「未完の美」とは何か。なぜ安吾はその姪が地獄へ落ちたり淪落したりすると決めつけるのか。「淪落自体が美」とは何か。(略)

どうも「墮落論」は、天皇制の問題とか武士がどうしたとか書いてあることはあるが、安吾がひどく拘泥しているのは、文脈の乱れの見られるこのあたり、つまり「女の淪落」なのではないかと思えるのだ。そもそも「墮落」とは何か、と考えてみれば、赤穂浪士の生き恥だの、東京裁判の被告だの、さして普遍性のある話ではなし、要するに安吾は、女が若くて美しい処女で死ぬか、処女を失い、果ては娼婦に身を落としてなお生きるかといったあたりをイメージしてこのエッセイを綴ったとしか思われぬのだ。そして厄介なのは、どうもこの、『白痴』の作者は、清楚な処女にも魅かれると同時に、娼婦、あるいはそれまがいへと「転落」した女にも、何か異様な興味を持っていたとしか思えないからである。

(小谷野敦『「墮落論」をめぐる謎』『反=文芸評論 文壇から遠く離れて』2003、P216-220)

■設問 (12%)

ここで指摘される安吾の「女の淪落」という「墮落」にまつわる「娼婦幻想」や「ふしだらな女幻想」は、戦後日本の表象である「東京裁判の被告の生き恥」のそれへの抵抗とは意味合的にどう違うのか、以上の文章から読み取り、500字以内で検討してみよ。

四、以下のテーマで、600字～1000字以内で日本語文で小論文を書きなさい。(15%)

テーマ：サブカルチャーの文学的想像力の現在——村上春樹における「成熟」の問題

備 註	試 題 隨 卷 繳 交
-----	-------------

考試科目	日本歷史	所別	日本語文學系 6141	考試時間	2月26日(日)第3-4節
------	------	----	----------------	------	---------------

次の文章の空欄①から④に該当する語句を下記より選びなさい。また以下の設問を答えなさい。(8分)

唐が中国を統一しても、日本は中国との積極的な外交は続き、630年に初めての遣唐使として(①)が派遣された。(①)の帰国時には〈僧旻〉と一緒に帰国している。遣唐使はふつう4隻の船に分乗したのでよつのふねとよばれた。当時は造船や航海の技術が未熟だった上に、8世紀以降は、朝鮮半島を統一していた(②)との関係が悪化したため、危険な南路をとったこともあって、船での往来は困難をとめない、中には(③)のように帰国できず、唐で一生を終えた人もいた。しかし遣唐使の時と同様に、多くの(1)留学生や留学僧が遣唐使とともに海を渡った。また、逆に唐から日本へ渡り、戒律を伝えたことでも知られる(④)のような唐僧もいた。

- ① a. 犬上御田歙 b. 大伴金村 c. 藤原清河 d. 栗田真人
- ② a. 高句麗 b. 百濟 c. 伽耶(加羅) d. 新羅
- ③ a. 阿倍内麻呂 b. 阿倍比羅夫 c. 阿倍仲麻呂 d. 阿倍頼時
- ④ a. 鑑真 b. 空海 c. 惠慈 d. 行基

設問

下線部(1)に関して、遣唐使に随行して留学し、帰国後に橘諸兄の政権に参画した人物を下記より選びなさい。(4分)

- a. 吉備真備 b. 藤原仲麻呂 c. 和氣清麻呂 d. 淡海三船

二.

14世紀始め、鎌倉幕府は両統が交代で皇位につく両統迭立を提案し、今後は朝廷の中で解決することを望んだが、対立はますます激化した。そうした中で、1318年に即位した(①)の後醍醐天皇は平安時代の延喜・天曆の治を理想とし、政治の刷新を図り院政を廃止し、(②)を再興させ、天皇親政を復活させた。一方、鎌倉幕府は、執権北条高時のもと内管領長崎高資が専権をふるい、御家人の信望を失っていた。後醍醐天皇はこのような情勢を見て、討幕を試みるが、1324年、六波羅探題に計画がもれて失敗し、さらに1331年、天皇の皇子である天台座主(③)を中心に挙兵を計画するが再び失敗し、天皇は隠岐に流された。しかし、(③)の令旨を受けた(④)が挙兵し、天皇も隠岐を脱出した。反北条氏勢力も討幕に立ち上がり、1333年、(⑤)は六波羅探題を攻め、(⑥)も鎌倉を占領し、ここには鎌倉幕府は滅んだ。

備註	試題隨卷繳交
----	--------

考 試 科 目	日本歴史	所 別	日本語文學系 6141	考 試 時 間	2 月 26 日(日) 第 3-4 節
---------	------	-----	----------------	---------	---------------------

設問

文中の (①) ~ (⑥) に、適切な語句を次の語群から選び、記号で答えなさい。(12 分)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| イ. 花山院 | ロ. 北畠親房 | ハ. 大覚寺統 | ニ. 延暦 |
| ホ. 記録所 | ヘ. 政所 | ト. 侍所 | チ. 新田義貞 |
| リ. 護良親王 | ヌ. 北畠顯家 | ル. 楠木正成 | ヲ. 持明院統 |
| ワ. 足利尊氏 | | | |

三.

徳川家康は、1600 年の関ヶ原の戦いに勝ち、全国の大名に対する指揮権を確立した。徳川家康は、(①) 年に征夷大將軍の宣下を受け江戸に幕府を開いた。関ヶ原の戦い以降 (②) 年までを江戸時代という。

徳川家康は、1605 年、子の (③) に將軍宣下を受けさせ、將軍職が徳川家の世襲であることを天下に示した。そして幕府に臣従しない豊臣家を (④) 年 ~ (⑤) 年の大阪冬の陣、夏の陣で攻め滅ぼした。

幕府の経済力と軍事力は、他の大名を圧するほど大きかった。まず、経済力については幕領とよばれる直轄領が 17 世紀末には約 (⑥) 万石、その他に鉱山からの収入があり、また江戸、京都、大阪、(⑦)、(⑧) など重要都市の直轄化によって商工業・貿易を統制しており、加えて、貨幣の鑄造権まで掌握していた。軍事力に関しては、旗本、(⑨) 人とよばれる將軍直属の家臣団があり、旗本の知行地は約 (⑩) 万石であった。幕府の主な役職は、老中、若年寄、寺社奉行、町奉行、勘定奉行であり、最高職は必要に応じておかれる (⑪) であった。

文中の空欄 (①) ~ (⑪) に入る最も適切な語句や人名を次の語群より選びなさい。(22 分)

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. 上知令 | 2. 伊豆 | 3. 執權 | 4. 一国一城令 |
| 5. 閥老 | 6. 関東御領 | 7. 管領 | 8. 公家諸法度 |
| 9. 検地帳 | 10. 1603 | 11. 石高制 | 12. 堺 |
| 13. 佐渡 | 14. 地方知行制 | 15. 1614 | 16. 300 |
| 17. 守護領国制 | 18. 惣無事令 | 19. 大老 | 20. 徳川家綱 |
| 21. 徳川家斉 | 22. 徳川家光 | 23. 1615 | 24. 徳川秀忠 |
| 25. 徳川吉宗 | 26. 年寄 | 27. 長崎 | 28. 幕藩体制 |
| 29. 藩閥政治 | 30. 武家諸法度 | 31. 俸給制 | 32. 1867 |
| 33. 身分統制令 | 34. 領知宛行状 | 35. 400 | |

備 註	試 題 隨 卷 繳 交
-----	-------------

考 試 科 目	日本歴史	所 別	日本語文學系 6141	考 試 時 間	2 月 26 日(日) 第 3-4 節
---------	------	-----	----------------	---------	---------------------

四.

富国強兵を目指す明治政府は、率先して西洋の生活様式や思想を国民の生活の中に取り入れようとした。この風潮は文明開化とよばれ、この文明開化政策の一環として政府は (①) をモデルにした②学制を公布した。

その後、学制は、③国民生活の実情とあわなかったため 1879 年に廃止され、代わって (④) の教育制度を参考にした教育令が公布される。この教育令もまた批判をうけ、翌年前面的に改正される。学制時代の教育政策は、次第に国家主義的な方向へと改められていき、1890 年には (⑤) が井上毅らによって起草、發布された。

他方で政府は、明治期に欧米の学者・技術者を多数招聘し、近代的な学問の輸入につとめた。彼らの指導の結果、明治の中期以降は、特に自然科学の分野で日本の学者による世界的水準の独創的な研究もあらわれた。人文・社会科学の分野においては、(⑥) を中心にドイツ流の学問が優勢になり、これまでの英米仏流の学問の中心は私立学校に移った。

設問(12分)

- 空欄①に該当する国名を下記より選びなさい。
ア. イギリス イ. フランス ウ. ドイツ エ. アメリカ
- 下線部②によって、明治政府が始めて設立した学校を下記より選びなさい。
ア. 大学校 イ. 女子師範学校 ウ. 上・下等中学校 エ. 医学校
- 下線部③に関する下記の文章を読み、A・Bともに正しい場合はア、Aが正しくBが誤っている場合はイ、Aが誤りでBが正しい場合はウ、A・Bともに誤っている場合はエを書きなさい。
A 学制は、当時の人口約 600 人に 1 校の割合で小学校を設置することを定めており、現状にあわなかった。
B 学制では、学校の建築費や教員の給料は住民の負担とされたため、学制反対一揆をおこす地域もあった。
- 空欄④に該当する国名を下記より選びなさい。
ア. イギリス イ. フランス ウ. ドイツ エ. アメリカ
- 空欄⑤に該当する語句を下記より選びなさい。
ア. 教育制度 イ. 教育勅語 ウ. 教育政策 エ. 教育令
- 空欄⑥に該当する語句を下記より選びなさい。
ア. 京都帝国大学 イ. 一橋大学 ウ. 東北大学 エ. 東京帝国大学

備 註	試 題 隨 卷 繳 交
-----	-------------

考 試 科 目	日本歴史	所 別	日本語文學系 6141	考 試 時 間	2 月 26 日(日) 第 3-4 節
---------	------	-----	----------------	---------	---------------------

五.

第二次世界大戦後、アメリカをはじめとする連合軍の占領のもとでおこなれた戦後改革は、日本の政治と行政のあり方に抜本的な変更を加えた。そのうち、占領初期に断行された日本の民主化の大きな柱は、(①) 年に発布された大日本帝国憲法(明治憲法)を改正し、日本国憲法を成立させたことであつた。

憲法の改正問題は、終戦直後から大きく取り上げられたわけではなかつた。しかし、(②) をかかげ、改革に消極的だつた(③) 内閣が(④) 年 10 月に総辞職し、(⑤) 内閣が成立してから、この問題は具体化した。連合軍最高司令官マッカーサーは、(⑤) 首相に憲法の自由主義化の必要性についての示唆を与え、松本烝治国務大臣を長とする(⑥) が発足した。ただし、当時、明治憲法を抜本的に改正することが必要と考えるものは、極めて少なかつた。

これより少し前、当時国务大臣であつた(⑦) も、やはりマッカーサーから示唆を受け、宮内の内大臣において独自に憲法改正の調査を開始した。しかし、連合軍総司令部の指令により内大臣府が廃止されたこともあつて、(⑦) による憲法改正の調査には、終止符を打たれた。(⑦) はその後、戦争犯罪人として指名され失意のうちに自殺した。

設問

文中の空欄(①) から(⑦) にあてはまる人名、語句、数字を語群の中から選んで選びなさい。(14分)

- | | | |
|-----------|----------|--------------|
| ア. 小磯國昭 | イ. 松岡洋右 | ウ. 憲法懇談会 |
| エ. 吉田茂 | オ. 1890 | カ. 近衛文麿 |
| キ. 1889 | ク. 東條英機 | ケ. 憲法問題調査委員会 |
| コ. 東久邇宮稔彦 | サ. 鈴木貫太郎 | シ. 1945 |
| ス. 国体護持 | セ. 憲法研究会 | ソ. 片山哲 |
| タ. 幣原喜重郎 | チ. 1948 | |

六.

日清戦争以降の、欧米の中国利権奪取について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。(4分)

- ① ロシアは、下関条約で日本が得た利権の返還を求めて、フランス、ドイツと三国干渉を行い、その代償として東清鉄道の敷設権を得た。

考 試 科 目	日本歴史	所 別	日本語文學系 6141	考 試 時 間	2 月 26 日(日) 第 3-4 節
---------	------	-----	----------------	---------	---------------------

- ② イギリスは、香港に隣接する広州湾や軍港のある遼東半島を租借し、これらを東洋艦隊の基地とした。
- ③ フランスは、門戸開放・機会均等などを唱えて他の列強を牽制し、中国市場への経済的進出を図ろうとした。
- ④ アメリカは、広東省・江西省など中国南部の利権を獲得し、鉄道の敷設などによって、影響下にあったヴェトナムとの連携を強化しようとした。

七.

日本の敗戦に関連してに述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。(4分)

- ① カイロ会談には中国の代表も参加し、台湾の返還が決定された。
- ② カイロ会談には、ソ連からスターリンが参加した。
- ③ ポツダム宣言では、日本とドイツ両国に対し、降伏が求められた。
- ④ 蒋介石は台湾に渡り、抗日戦を指揮した。

八.

アジアと日本との和解が不十分であるとすれば、その理由はどこにあるのか、具体的に説明してください。(20%)

備 註	試 題 隨 卷 繳 交
-----	-------------

考試科目	日語語言學	所別	日本語大學系 <small>b141</small>	考試時間	2月26日(日)第3,4節
------	-------	----	----------------------------	------	---------------

すべて日本語で答えなさい。答える順序は自由です。

1. 連濁とは2つの語が連続した場合、後接語の無声子音が有声化することである。しかし、h音だけは時にはb音、時にはp音に変化する。次の例を見て、どのような場合にb音になり、どのような場合にp音になるか、分析して規則を見つけなさい (7%)

例	箔 (はく) → 金箔 (きん ぱ く)	花 (はな) → 活け花 (いけ ば な)
	品 (ひん) → 物品 (ぶつ ぴ ん)	人 (ひと) → 恋人 (こい び と)
	服 (ふく) → 軍服 (ぐん ぶ く)	袋 (ふくろ) → 堪忍袋 (かんにん ぶ くろ)
	兵 (へい) → 閲兵 (えつ ぺ い)	下手 (へた) → 口下手 (くち べ た)
	方 (ほう) → 漢方 (かん ぼ う)	星 (ほし) → 一番星 (いちばん ぼ し)

2. 次の用語の定義をしなさい。必ず例を挙げること。(15%)

①語彙的受身と統語的受身 ②相対的テンス ③対人モダリティ

3. 次の5つの文はいずれも共通の誤用がある。①どのような共通点か、②なぜ誤用なのか、③どのように訂正したらよいか、述べなさい。(8%)

- a (病院で医者に向かって)「先生、私の病気、治れますか？」
- b 「先生、この問題、いくら考えてもわかりません。」
- c 「反対野党の勢力が大きいから、新政府はうまくいけないだろう。」
- d 「鍵が壊れていて、ドアが閉まれない。」
- e 「そんな勉強の仕方では、大学に受かれないよ。」

4. 作文 (30%)

テーマ『なぜ嘘をついてはいけないのか』(400~500字程度)

考試科目	日語語言學	所別	日本語文學 b141	考試時間	2月26日(日)第3.4節
------	-------	----	---------------	------	---------------

5. 膠着語と言われる日本語の語の形態的特徴について例を挙げて説明しなさい。12%
6. ノ格は名詞句と名詞句をつないで、その関係を示す。ノ格が表す名詞句と名詞句の関係にはどのようなものがあるか、例を挙げて述べなさい。13%
7. 次の3つの文はいずれも母語話者に不自然に感じられる発話です。どのように直したらいいか、そしてその不自然さはどこから来たのか、「話し手の視点」の観点から説明しなさい。15%
- 1) #友達が私に電話を掛けました。
 - 2) #母が私に手紙を書きました。
 - 3) #姉が私に小包を送りました。

